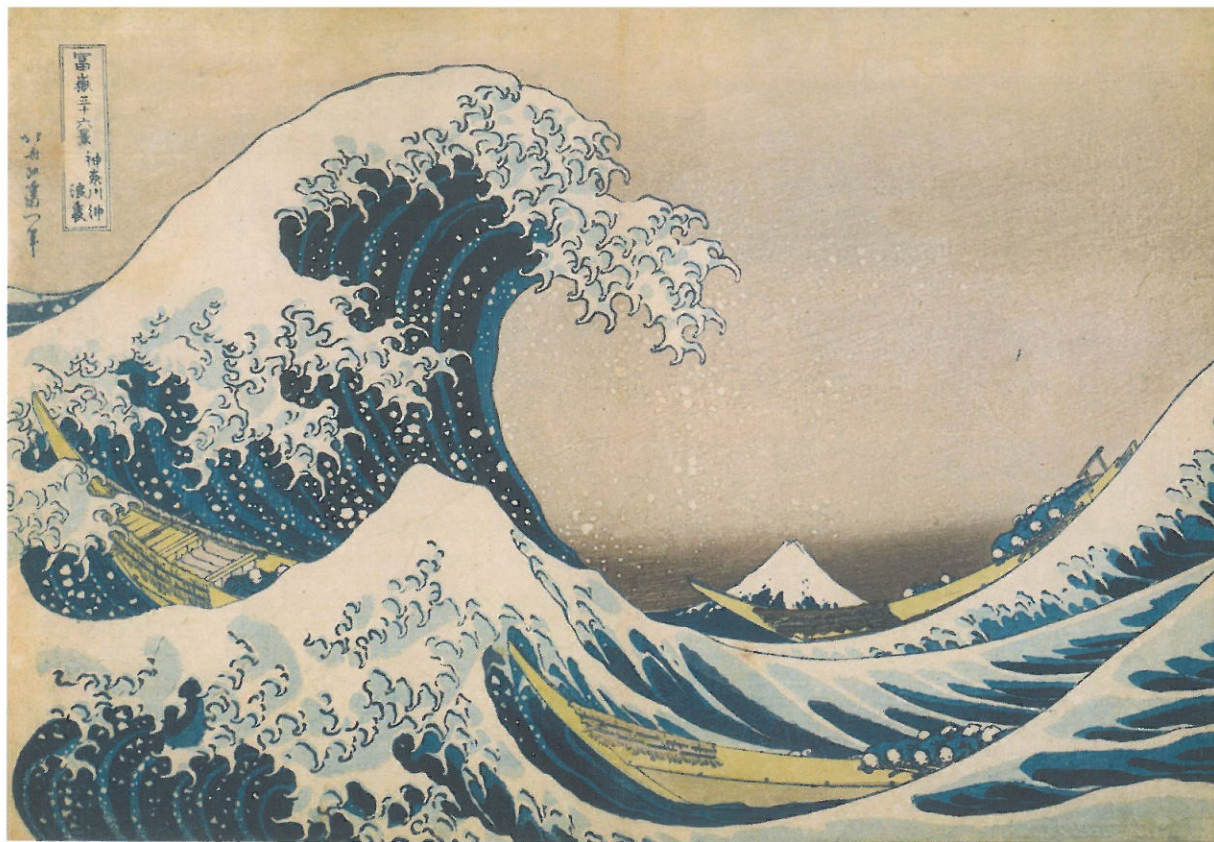


The UKIYO-E 2020

世界最高水準の浮世絵版画が、上野に集結！



葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」太田記念美術館

浮世絵は、江戸時代の庶民たちに愛好された、日本を代表する芸術の一ジャンルです。その人気は海を渡り、印象派の画家をはじめとする欧米のアーティストたちに大きな影響を与え、ジャポニスム旋風を巻き起こしたことでよく知られています。また、葛飾北斎の「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」は、世界で最も有名な日本の作品“Great Wave”として、多くの人々に愛されています。本展覧会は、日本が世界に誇る浮世絵の魅力を存分に紹介するため、質、量ともに日本の三大浮世絵コレクションと言って過言ではない太田記念美術館、日本浮世絵博物館、平木浮世絵財団の名品をはじめて結集し、選りすぐった約450点の浮世絵版画を展示します。浮世絵版画の名品は海外に流出してしまった！という認識をお持ちの方も多かもしれませんが、実は日本国内に、世界最高水準の浮世絵コレクションがあるので。浮世絵の初期から幕末まで、代表的な浮世絵師たちによる名品の数々をお楽しみください。

太田記念美術館

東邦生命保険相互会社会長などを歴任した太田清蔵氏が収集した1万点以上のコレクションを基礎に、東京・原宿で様々な浮世絵の企画展を開催している。

日本浮世絵博物館

松本市出身の酒井家が、江戸時代から200年にわたって収集したコレクションの数はなんと約10万点。長野県松本市で、その膨大なコレクションの一部を公開している。

平木浮世絵財団

実業家・平木信二氏による約6000点のコレクションには、重要文化財11点、重要美術品238点が含まれ、その質の高さは国内外に知られている。



溪齋英泉「浮世風俗美女競（蚊帳美人）」日本浮世絵博物館

浮世絵 2020

日本経済新聞社と小学館が共同で立ち上げたプロジェクト「UKIYO-E 2020」では浮世絵を「世界最高のポップカルチャー」と位置付け、浮世絵の魅力の世界に発信します。



歌川豊国「豊広豊国両面十二候 正月三枚続」平木浮世絵財団